

取得方法

受講資格

誰でも受験可能。年齢や特別な学歴、職歴の条件はありません。

養成講座の受講

日本防災士機構が指定する養成研修（2日間程度）を受けます。

内容：防災基礎知識、災害の種類と対応、救急救命、避難所運営など。

資格取得試験

筆記試験に合格し、必要な救急救命講習（普通救命講習など）を修了することで認定されます。

活動例

- ・自治会等での防災訓練指導
- ・小学校や公民館での防災教室の講師
- ・災害ボランティア活動への参加
- ・職場における防災計画・事業継続計画の推進



✓ 災害時に備え、自助・共助を高めることが大切です！

自助と共助の必要性

大規模な災害が発生すると、道路の寸断や救助要請の集中により、行政や消防といった公助はすぐには届かないことがあります。そこで大切になるのが「自助」と「共助」です。

自助とは、自分や家族の命を守るために備える力です。食料や水、懐中電灯、薬などをあらかじめ準備しておけば、救援が遅れても数日間を乗り越えることができます。

一方、共助とは、地域や近所同士で助け合う力です。災害時には、身近にいる人が最も早く動けるため、安否確認や避難誘導、けが人の搬送など、協力し合うことで多くの命を救えます。自助と共助の両輪がそろってこそ、公助が届くまでの間を支え合い、地域全体の防災力を高めることができます。

東通村 公助の取り組み

東通村では、地域防災計画や国土強靱化地域計画を策定し、行政として住民を守る体制を整えており、情報伝達網の整備や避難訓練、防災訓練を多機関連携で実施してしている他、防災情報の普及や相談対応、災害時の支援体制を強化しています。自助・共助と組み合わせることで、地域全体の防災力を高めることが大切です。

東通村防災士資格取得助成金を活用して、防災士資格の取得をするほかにも、村や地域の防災訓練に参加することも「防災力」を高める取り組みになります！

【防災に関するお問合せ先】は防災安全課まで

災害時の情報発信もしています。東通村公式LINEにご登録ください。

公式アカウント



公式LINE